

【北陸 ICT 戦略ミッション レポート3】

韓国の ICT 利活用先進事例(行政、教育、医療等)について意見交換

全体セッションのほか、個別セッションでは、韓国における行政、教育、医療等の ICT 利活用先進事例であるソウル特別市、EBS（教育放送）、仁川カヒョン小学校（デジタル教科書の先行導入校、2007 年から実施、日本のフューチャースクールはこの取組等をベンチマーキングしたもの）、延世大学学術情報センター、延世大学医学部セブランス病院（海外からの患者誘致のため、国際的に権威ある JCI 認証を取得、IC カードによるネット予約により窓口待ち時間ゼロを実現、患者が保険薬局を訪れる前にオンラインで処方箋データを事前に伝送など）、情報化村のポリッコゲ村及び地域情報開発院（韓国内の全自治体の基幹業務系システムを1本のシステムとして統合運用、全自治体のネットワーク資源の管理とセキュリティの監視・防御を集中的に実施）を訪問し、意見交換を行いました。



ソウル特別市において電子行政の取組について意見交換



仁川国際空港に設置されている住民票、納税証明書、卒業証明書等各種証明書の自動交付機



低所得や地方居住による教育機会不平等の是正のため、修能試験（大学入試センター試験）向け講義（実際に 7 割の問題がここから出題）のインターネット放送を実施、実際に受験生の 8 割（350 万人）が利用、このため、10 万人の同時アクセスにも対応可能な環境を構築



仁川カヒョン小学校でデジタル教科書の授業を視察



情報化村のポリッコゲ村で地域活性化の取組について意見交換



情報化村のポリッコゲ村で体験観光プログラムの餅つきを体験



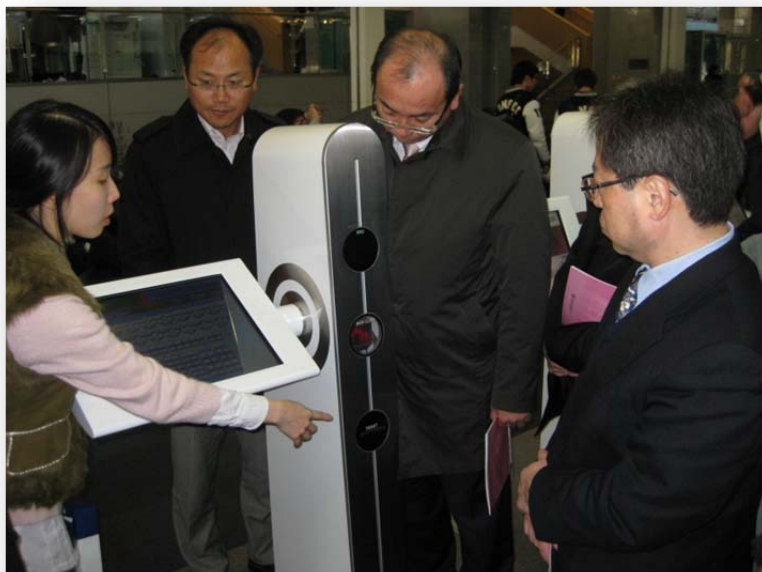
延世大学医学部セブランス病院で病院経営の効率化や患者の満足度最大化のための医療情報化について意見交換

韓国では、医療情報化の先進的ノウハウを武器に、病院の建設(資金調達含む)から、医療機器、経営情報システム、診療映像管理システム(PACS)、診療記録管理システム(EMR)等まで、病院の建設、経営を丸ごとトータルプラント(「デジタル病院」)として輸出しようとする動きも。

※ 韓国デジタル病院輸出事業協同組合の設立(2011.2)。



延世大学医学部セブランス病院に設置されている自動収納機(診療費の決済、保険薬局への処方箋データの事前伝送など)



様々な ICT 活用システムのショーケースになっている延世大学学術情報センターを視察



延世大学学術情報センターで学習する学生達



地域情報開発院で電子行政システムの在り方等について意見交換